

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年2月18日～2016年2月24日)

平成 28 年(2016 年)2 月 26 日

H E A D L I N E S

政治

ワレサ元大統領の社会主義時代の秘密警察との協力可能性を示す文書が見つかる
 野党・市民プラットフォーム、ブワシュチャク内相の不信任決議案を提出
 シドウウォ首相、欧州理事会に出席
 ヴァシチコフスキ外相、V4外相会合に出席
 ヴァシチコフスキ外相、スロバキアを訪問

経済

アフリカ産ブタコレラは制圧済との欧州委員発言
 金融政策委員会委員の指名
 2016年予算案が上院通過
 ベルカ中銀総裁のEBRD総裁立候補の可能性
 商業施設税法案の準備状況
 1月の失業率増加
 長距離輸送トラックの入国許可に関し、ポーランドとロシアが暫定合意
 エネルギー省、昨年再生可能エネルギー法の再改正を検討中
 シドウウォ首相:石炭の重要性を改めて強調

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて
 パスポートダウンロード申請書のご案内について
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

読者からのお知らせ

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

| |
|-----|
| 政 治 |
| 内 政 |

ワレサ元大統領の社会主義時代の秘密警察との協力可能性を示す文書が見つかる【18日】

18日、カミンスキ国家記憶院(IPN)総裁は、昨年11月に死去したキシチャク元首相、元内相の自宅からワレサ元大統領の社会主義時代の秘密警察との協力可能性を示す文書が発見されたことを発表した。22日に公開された同文書には、秘密警察の協力者コードネーム「ボレク」の横にレフ・ワレサと書かれた署名や1970年代のワレサ氏と秘密警察の協力に関する記述が含まれている。ワレサ元大統領の社会主義時代の秘密警察との協力疑惑はこれまで25年以上にわたり指摘されており、同元大統領は右疑惑を何度も否定し、2000年の前歴裁判では潔

白が証明されている。今回もワレサ元大統領は協力の事実を否定している。

野党・市民プラットフォーム、ブワシュチャク内相の不信任決議案を提出【23日】

23日、最大野党・市民プラットフォーム(PO)は、ブワシュチャク内相の不信任決議案を下院に提出した。ヴォイチクPO議員は、同決議案提出に際して、マイ国家警察本部長官の辞任等の最近の動きはブワシュチャク内相が警察を然るべく監督していないことを示しており、同内相の下では国内の治安が悪化し、警察が政治的な機関になってしまう旨述べた。

| |
|---------|
| 外交・安全保障 |
|---------|

シドゥウォ首相、欧州理事会に出席【18日・19日】

18・19日、シドゥウォ首相は、英国によるEU改革案に関する議論を主目的とする欧州理事会に出席した。同理事会では、英国がEUに残留するための条件につき合意がなされ、ポーランドが重視してきた社会福祉分野においては、両親がEU域内で働き、子供がポーランド国内に滞在する家族への児童手当の支給に物価調整が導入され、英国に今後移住するポーランド国民への社会保障給付が制限されることとなった。シドゥウォ首相は、我々は、ポーランド及びEUの双方が満足できる合意を得た、キャメロン英首相の議論が(英国国民の間で)多くの支持を受け、英国がEUに残留することを信じている旨述べた。

されたV4設立25周年を記念するV4外相会合に出席し、V4協力の今後の展望等に関する議論に参加した。同外相は、V4は隣国における紛争に直面しており、歴史を共有するパートナーとして協力していく必要がある旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相、スロバキアを訪問【22日】

22日、ヴァシチコフスキ外相は、スロバキアを訪問し、ライチャーク副首相兼外務・欧州問題相と会談を行い、二国間協力、地域協力、欧州の直面する課題、安全保障政策等につき意見交換した。ヴァシチコフスキ外相は、我々は(本年7月から1年間の)ポーランドのV4議長国と(本年後半の)スロバキアのEU議長国の緊密な協力を重視している旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相、V4外相会合に出席【18日】

18日、ヴァシチコフスキ外相は、プラハにて開催

| |
|-----|
| 経 済 |
|-----|

| |
|---------|
| 経済・財政政策 |
|---------|

アフリカ産ブタコレラは制圧済との欧州委員発言【18日】

アンドリュカイティス保健衛生・食の安全担当欧州委員はカトヴィツェの会合で、アフリカ産ブタコレラ(ASF)は現在EU内ではエストニア、リトアニア、ラトビア及びポーランドでのみ検知されているがいずれも制御下にあり、主な感染経路は野生イノシシであると発言。22日にユルギエル農業大臣はベラルーシ・ウクライナ国境付近50km地帯で野生イノシシ4万頭の駆除を行う旨指示している。

ツツ(Kamil Zubelewicz)の両氏を金融政策委員会の新委員として17日に任命。ハルド氏は経済学博士で規制・経済哲学の専門。ズベレヴィツツ氏は経済学博士で現在ワルシャワで教鞭を取っている。

2016年予算案が上院通過【19日】

19日、上院は2016年予算案を賛成57票、反対24票で可決。省庁間予算の配分等に修正が入ったため、今後下院に差し戻され下院の承認により成立する。

金融政策委員会委員の指名【18日】

ドゥダ大統領は、ハルド(Lukasz Hardt)、ズベレヴィ

ベルカ中銀総裁のEBRD総裁立候補の可能性【24日】

Puls Business 紙によれば、今年6月に任期を終えるベルカ中銀総裁が、今年7月に任期が切れるEBRD（欧州復興開発銀行）総裁に立候補する可能性が取りざたされているとのこと。政府の支持を得ているとの報道もあるが、正式なコメントは出ていない。

商業施設税法案の準備状況【24日】

財務省によれば、商業施設税法案は来週にも準備が整う予定。但し、現在提案されている累進課税（売上がひと月150万ズロチ以上3億ズロチ以下の商店0.7%、それ以上の商店1.3%、土日は売上がひと月売上3億ズロチ以下の商店1.3%、それ以上の商店1.9%）となるか、一律税率となるかは未定。

マクロ経済動向・統計

1月の失業率増加【24日】

中央統計局(GUS)によれば、1月の失業率は対前年同月比10.3%と、二桁台に逆戻り。登録失業

者数は165万人。

ポーランド産業動向

長距離輸送トラックの入国許可に関し、ポーランドとロシアが暫定合意【22日】

ポーランド及びロシア当局は厳しい交渉の結果、両国間を往来する貨物輸送トラックに対する許可証に関し暫定的に合意した。ポーランドの輸送会社は2016年に20,000件の許可（一般及び第三国貨物

を半数ずつ）、ロシア側も20,000件の許可（第三国貨物用が500、残りは一般）が認められることとなった。4月15日までにロシア側では必要な改正等の措置をとることになる。

エネルギー・環境

シドゥウォ首相：石炭の重要性を改めて強調【22日】

シドゥウォ首相は、訪問先のヤボジュノ（タウロン社による900MWの石炭火力発電所が建設中）において、ポーランドにおける発電は引き続き石炭をベースとし、他のエネルギー源も石炭との調整に従って開発されなければならないと述べた。特に、石炭部門の現代化とクリーンコール技術の導入による改革が必要であり、合理的な炭鉱部門の再建計画を提示すると述べた。また、新会社移行協議中のコンパニア・ヴェングロヴァ社については、関係者との合意や移行計画の実施までには時間がかからない見

込みと述べた。同社については、状況は管理されているとし、対話は継続されており、給料の支払いを保証することが大切な課題だとも述べた。

エネルギー省、昨年の再生可能エネルギー法の再改正を検討中【19日】

エネルギー省は、昨年改正された再生可能エネルギー法の再改正を検討していると発表。小規模電源の導入に対する支援を中心に改正点を分析・検討しているという。

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月15日（水）15時から19時までの間、HOTEL Mercure Wroclaw Centrum内、会議室(pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/wroclaw.shucchou2016.pdf>

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】原貴之氏による個展:「Before we fall again」【1月15日(金)～3月16日(水)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、繊細なドローイングで定評のあるアーティスト原貴之氏による個展:「Before we fall again」が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/en/exhibition/59>

【予定】現代日本の工芸展【3月1日(火)～5月15日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、国際交流基金巡回展、「現代日本の工芸展」が開催されます。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/>

【予定】南部広域ユース極真空手選手権 【3月12日(土)】

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『南部広域ユース極真空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: ポトカルパチェ県、レジャイスク市, ul. M.C. Skłodowskiej 6

詳細: <http://karate.lezajsk.pl/>

【予定】日本語弁論大会 【3月12日(土) 12:30～】

ワルシャワ大学旧図書館講堂にて、第37回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者(高校生及び大学生)による日本語のスピーチと質疑応答が披露されます。入場無料。

開催場所: ワルシャワ大学旧図書館講堂 (Stary BUW), ul. Krakowskie Przedmiescie 26/28

詳細: http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_benron2016.html

読者からのお知らせ

ボズナン弁論大会の開催について

2月27日(土)ポズナン弁論大会を開催いたします。今年の弁論大会には28人の2年生が出席し、様々なテーマで熱弁をふるいます。お時間のある方は、ぜひお越しくださいませ。詳しくは下記リンク先からポスターをご覧ください。

<http://creativa.amu.edu.pl/juz-niedlugo-%E5%BC%81%E8%AB%96%E5%A4%A7%E4%BC%9A/>

第一回トルン日本語弁論大会について

日時:2月27日(土):13:00 (12:30開場)

開催場所: ニコラウス・コペルニクス大学人文学部講堂 Collegium Humanisticum UMK

Ul.Władysława Bojarskiego 3

<https://goo.gl/maps/HWuD5mVQFuB2>

出場者:ニコラウス・コペルニクス大学日本学科2年生・3年生

主催: ニコラウス・コペルニクス大学日本語文化研究室

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)